

| | | | | | | | |
|--------------------|---|--|----|-----|---------------|--------|----|
| 科目名 Course Name | 介護総合演習V Care Practice Support V | | | | ナンバリング No. | J4-006 | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 1 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 久保 由佳 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程は必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP1, DP2 | | | | | | |
| 授業の概要と 到達目標 | <p>介護福祉士国家試験(筆記試験)受験に必要な知識と効果的な学習方法を習得し、合格するための受験対策を中心とする。また、今期は認知症対応型共同生活介護での実習を行うため、この実習のオリエンテーションと反省会も行う。</p> <p>①出題基準に照らし合わせた既習の学習内容を確認できるようにする。 ②模擬試験を活用した効果的な学習ができるようにする。 ③模擬試験において介護福祉士国家試験(筆記試験)の合格点をとることができるようにする。 ④認知症対応型共同生活介護(グループホーム)実習を通して、認知症高齢者に対する生活支援のあり方を説明できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 国家試験関連の授業は、講義、模擬試験、グループまたは個人学習、発表を通して行う。実習関連の授業では、グループワークと発表を行う。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | 介護福祉士国家試験(筆記試験)の合格点をとることができる。 | | | | | |
| | L02 | 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)に関する知識を踏まえて実習を行い、認知症高齢者に対する支援のあり方について述べるができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対する フィードバック | 模擬試験後は個人成績を各自に返却する。第2・3回模擬試験に関しては、全国順位、合格ランク、科目ごとの得点、各問題の正答率等の成績も開示する。また、解説の時間もとり、出題傾向や要点の説明を行いながら、苦手科目および学習のポイントをフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/ 参考図書 | <p>①「介護福祉士国家試験模擬問題集 2024」中央法規出版 ②「介護福祉士国家試験受験ワークブック 2024 上・下」中央法規出版 ③「介護福祉士国家試験らくらく暗記マスター 2024」中央法規出版 その他、各授業のテキストや参考書、配布資料等、すべて活用する。</p> | | | | | | |
| 履修上の留意点 やルール等 | <p>●国家試験に関する内容は、試験センターからの通知を含め、随時説明する。重要書類が多いため、保管や紛失に十分注意すること。●第2・3回模擬試験にあたる全国統一模擬試験の費用は自己負担となる。支払方法等は授業にて説明する。●実習開始に合わせて、新型コロナウイルス感染防止対策に関する内容を説明する。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回45分とする。</p> | | | | | | |
| 担当教員の実務 経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | S 評価は、①授業に集中している。②授業以外も活用し、自主的かつ積極的に取り組んでいる。③グループワーク時は他学生の意見を聞いた上で、自分の考えを述べている。④提出期限を守っている。 | 40 | | | |
| レポート/作品 | S 評価のレポートは、グループホーム実習を振り返り、学びや気づきが具体的に記述されていること。自分の考えがまとめられていること。 | | 10 | | |
| 発表 | 模擬試験後の学生による解説時は、事前に調べる確に説明している。実習反省会では、提示した内容を適切にまとめ、発表している。 | 10 | 10 | | |
| 小テスト | | | | | |

| | | | | |
|-----|-----------------------------------|----|----|--|
| 試験 | 模擬試験 3 回分の平均点が 90 点以上の場合、S 評価とする。 | 20 | | |
| その他 | 指示されたテキスト類を毎回準備している。 | 10 | | |
| 合 計 | | 80 | 20 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法など) 模擬試験と国家試験対策の説明、国家試験の概要と既習学習の確認 |
| | 事前・事後学習 | 国家試験に係わるテキスト、問題集の準備。既習学習の確認。受験関連書類の整理。 |
| 2 | 授業内容 | 介護福祉士に関連する各種法律やデータの確認 近年の法改正の概要や変更点、出題傾向とポイント |
| | 事前・事後学習 | 各種法律やデータの重要ポイントを暗記する。模擬問題等を解く。 |
| 3 | 授業内容 | 居宅介護実習Ⅲの準備(実習方法と留意点を説明、実習記録一式配布) |
| | 事前・事後学習 | 認知症対応型共同生活介護の概要や認知症および認知症介護について復習する。 |
| 4 | 授業内容 | 全国統一模擬試験に向けた学習 |
| | 事前・事後学習 | 繰り返し問題を解く。解答後は正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |
| 5 | 授業内容 | 第 2 回模擬試験(全国統一模擬試験) ※別日程を含めて実施 |
| | 事前・事後学習 | 試験に向けて模擬問題等を解く。試験後は自己採点し、間違えた問題は根拠等を調べる。苦手科目を重点的に復習する。 |
| 6 | 授業内容 | グループまたは個人学習① 第 2 回模擬試験を活用した自己分析、出題傾向の確認 |
| | 事前・事後学習 | 第 2 回模擬試験で間違えた問題を中心に、根拠等をテキストで調べる。 |
| 7 | 授業内容 | グループまたは個人学習② 第 2 回模擬試験を活用した各科目の要点の確認 |
| | 事前・事後学習 | 第 2 回模擬試験で間違えた問題を中心に、根拠等をテキストで調べる。 |
| 8 | 授業内容 | 第 2 回模擬試験の学生による解説、補足説明 今後の学習方法や次回模擬試験に向けた対策 |
| | 事前・事後学習 | 解説集をよく読む。繰り返し問題を解き、正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |
| 9 | 授業内容 | 学力評価試験に向けた学習 |
| | 事前・事後学習 | 繰り返し問題を解く。解答後は正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |
| 10 | 授業内容 | 学力評価試験の学生による解説、補足説明 今後の学習方法や次回模擬試験に向けた対策 |
| | 事前・事後学習 | 解説集をよく読む。繰り返し問題を解き、正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |
| 11 | 授業内容 | 第 3 回模擬試験(全国統一模擬試験) ※別日程を含めて実施 |
| | 事前・事後学習 | 試験に向けて模擬問題等を解く。試験後は自己採点し、間違えた問題は根拠等を調べる。苦手科目を重点的に復習する。 |
| 12 | 授業内容 | 第 3 回模擬試験の学生による解説、補足説明 今後の学習方法や次回模擬試験に向けた対策 |
| | 事前・事後学習 | 解説集をよく読む。繰り返し問題を解き、正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |
| 13 | 授業内容 | 居宅介護実習Ⅲ 反省会・まとめ 【レポート:実習の振り返り(事前に記入し持参)、提出は授業終了時】 |
| | 事前・事後学習 | 実習を振り返り、反省会用紙を記入する。介護観を述べられるよう考えをまとめる。 |
| 14 | 授業内容 | 第 4 回模擬試験(学内模擬試験) ※別日程を含めて実施 |
| | 事前・事後学習 | 試験に向けて模擬問題等を解く。試験後は自己採点し、間違えた問題は根拠等を調べる。苦手科目を重点的に復習する。 |
| 15 | 授業内容 | 第 4 回模擬試験の学生による解説、補足説明、国家試験に関する説明 |
| | 事前・事後学習 | 繰り返し問題を解く。解答後は正誤の確認と根拠等をテキストで調べる。 |